寒熱みかんジュース
今年もおいしくできました！

寄居町農産物加工研究会（保泉光子会長）では、毎年、風布・小林みかんを利用したストレート果汁の「寒熱みかんジュース」の加工を行っています。このジュースは、限定販売のため隠れた人気商品になっています。研究会では、寄居産みかんの美味しさをＰＲするため、たくさんの人に手軽に味わっていただこうと、この商品を開発しました。

研究会メンバーは、「今年も、上々の糖度とほどよい酸味のある絶品のみかんを協力農家から提供していただきました。これからも、数多くの商品を開発し、寄居町と地域資源のＰＲに努めていきたいです」と抱負を話してくれました。

親子お茶会開催
日本の伝統文化を体験しました！

2月7日に児童館で、「親子お茶会」が開催されました。これは、親子のふれあいを深め、お茶を通して、日本の伝統文化にふれることを目的に開催されたものです。

子どもたちは、「お軸」「にじり口」など講師の先生の専門的な言葉に最初は少し戸惑っていましたが、最後まできちんと座り、静かに話を聞いていました。

その後、お菓子やたてたお茶をいただき、親子で和やかな時間を過ごしました。

参加者のひとりは、「普段はできない体験をすることができ、親子で楽しめました」と話してくれました。

大里郡体育協会長招待
親善バレーボール大会開催！

大里郡体育協会では、2月22日に総合体育館・アタゴ記念館と寄居中学校体育館を会場に、町バレーボール連盟の協力のもと、親善と技術の向上等を目的に、「第1回大里郡体育協会長招待親善バレーボール大会」を開催しました。

当日は、熊谷市から7チーム、深谷市から5チーム、寄居町から11チームの合計23チームが参加し、4ブロックに分かれて、白熱した試合を繰り広げました。

Ｄブロックで優勝した立原ＹＭＣのキャプテン奥泉令子さんは、「初めての大会に参加し、優勝もできてとても感激しました。また、新しいバレーボール仲間ができ有意義な一日となりました」と話してくれました。

記録に挑戦！
第2回寄居町こどもギネス大会

町では、2月21日に、子どもの居場所づくり・遊び場づくり事業の一環として総合体育館・アタゴ記念館で町内の小学4～6年生を対象とした「第2回寄居町こどもギネス大会」を開催しました。

この大会は、町内の小学校で取り組んでいる運動種目や身の回りのものを使って、記録への挑戦という過程を通じて、楽しみながら体力の向上や仲間づくりなどにつなげることを目的として、昨年から開催しています。

当日は、昨年の約2倍となる300人の子どもたちが参加。個人なわとび5種目、集団なわとび、大声競争、シャトル投げ、豆うつしの合計9種目に挑戦しました。

2回目となる今大会では、6種目で昨年の記録が更新され、「寄居町こどもギネス記録」として認定されました。

集計結果を待つ間には、青少年相談員協議会の主催するレクリエーションが行われ、子どもたちは、競技とはまた違った形で他校の友達ともふれあい、楽しい時間を過ごしました。

個人なわとび

豆うつし競争

シャトル投げ

集団なわとび

大声競争

大会結果（＊印　新記録）　（敬称略）

種　目	記　録	氏　名	学校・学年
前　と　び	＊515回	久保晃大	鉢形小６年
前二重とび	199回	梶谷晏人	鉢形小６年
うしろとび	＊502回	鈴木三加	桜沢小５年
こうさとび	＊291回	菱沼晃大	寄居小６年
前三重とび	＊23回	高柳明莉	桜沢小５年
集団なわとび	66回	伝説の熱血少年団（鉢形小6年）	
大声競争	＊113.9ｄＢ	菱沼晃大	寄居小６年
シャトル投げ	＊9.05m	坂本大秀	鉢形小６年
豆うつし	24粒	久米美月	桜沢小６年